

2けた×1けたのかけ算の筆算の書き方とやり方をわかりやすく解説

2けたの数に1けたの数をかける筆算

2けた×1けたのかけ算の筆算のポイントは、かけられる数の十の位と一の位をわけて、一の位からじゅんばんに、かける数をかけていけばいいんだよ。

13×3を筆算で計算しましょう。

まず、位をたてにそろえて書こう。

このとき、たし算の筆算とおなじように、かけられる数とかける数の十の位と一の位をそろえるよ。

	1	3
×		3

まずは、かけられる数の一の位とかける数のかけ算をするよ。

かけられる数「13」の一の位の「3」と、かける数「3」をかけよう。

三三が9になるね。

	1	3
×		3
		9

もとめた答えは、一の位のところに書くよ。



つぎに、かけられる数「13」の十の位の「1」とかける数「3」をかけよう。
一三が3になるね。

	1	3
×		3
	3	9

もとめた答えは、十の位のところに書くよ。
一の位のところに書かないように気をつけなくてはいけないね。

なぜなら、ここで計算しているのは「10」×「3」だからね。
答えは30だから、十の位に「3」を書くんだよ。

くり上がりが1回あるかけ算の筆算

2年生の筆算でも「くり上がり」があるたし算を勉強したことがあったよね。

3年生のかけ算の筆算でも「くり上がり」があるんだ。
でも、考え方はたし算の筆算と同じだよ。

16×2を筆算で計算しましょう。

まず、かけられる数とかける数の位をたてにそろえて書こう。

	1	6
×		2



かけられる数「16」の一の位の「6」とかける数の「2」をかけよう。
 六二12になるから、十の位に「1」くり上がるよね。

	1	6
×		2
		12

「12」の「2」を一の位に書いて、「1」を十の位にくり上げよう。

つぎに、かけられる数の「16」の十の位の「1」とかける数の「2」をかけよう。

一二が2なんだけれど、くり上がった1があるから、
 $2 + 1 = 3$ を十の位に書こう。

	1	6
×		2
	3	12

かけ算だというだけで、「くり上がり」のやり方はたし算とおなじだね。

35 × 2 を筆算で計算しましょう。

まず、かけられる数とかける数の位をたてにそろえて書こう。

	3	5
×		2



かけられる数の「35」の一の位の「5」と、かける数の「2」をかけよう。

五二10の「0」を一の位に書いて、「1」を十の位にくり上げよう。

	3	5
×		2
		0
	1	

つぎに、かけられる数の「35」の十の位の「3」と、かける数の「2」をかけよう。

三二が6なんだけれど、くり上がった1があるから、 $6 + 1 = 7$ を十の位に書こう。

	3	5
×		2
	7	0

答えが3けたになるかけ算の筆算

2けた×1けたのかけ算でも、くり上がりがあることで、答えが3けたになるばあいがあるよ。

答えが3けたになるかけ算の筆算でも、やり方は今までと同じだよ。



42 × 3 を筆算で計算しなさい。

まず、かけられる数とかける数の位をたてにそろえて書こう。

	4	2
×		3

42 の一の位の「2」と「3」をかけよう。
二三が6になるね。

	4	2
×		3
		6

42 の十の位の「4」と「3」をかけよう。
四三十二の「2」は十の位に書いて、「1」は百の位にくり上げよう。

	4	2
×		3
1	2	6

十の位をかけてくり上がっているので、書くのは百の位のところなので気をつけよう。

四三十二だけれど、これは「40」×「3」で、「120」のことだからね。

「1」は、百の位に書かなければいけないね。



42 × 3 = 126 と筆算でもとめることができたね。

くり上がりが2回あるだけで、答えが3けたになっても考え方はおなじだね。

74 × 3 を筆算で計算しなさい。

まず、位をたてにそろえて書こう。

	7	4
×		3

74 の一の位の「4」と「3」をかけよう。

四三12の「2」を一の位に書いて、「1」は十の位にくり上げよう。

	7	4
×		3
		2

74 の十の位の「7」と「3」をかけよう。

七三21の「1」は十の位に書くのだけれど、くり上がっている「1」があるから、

1 + 1 = 2 になるよ。



21の「2」は百の位にくり上げよう。

	7	4
×		3
2	2	2

74 × 3 = 222 と筆算でもとめることができたね。

2けたの数に1けたの数をかける文章問題

ビスケットが1箱に25こ入っています。箱が2つあるとき、
ビスケットの数は何こになりますか。

ビスケット全部の数をもとめるには 25×2 を計算したらいいね。

筆算で計算すると

	2	5	→		2	5	→		2	5
×		2		×		2		×		2
					0				5	0

ビスケットの数は50こもとめることができるよ。

12本いりのえんぴつセットを9セット買いました。
えんぴつ全部の数は何本ですか。

えんぴつ全部の数をもとめるには、 12×9 を計算したらいいね。



筆算で計算すると

$$\begin{array}{r}
 12 \\
 \times 9 \\
 \hline
 8
 \end{array}
 \rightarrow
 \begin{array}{r}
 12 \\
 \times 9 \\
 \hline
 08
 \end{array}
 \rightarrow
 \begin{array}{r}
 12 \\
 \times 9 \\
 \hline
 108
 \end{array}$$

↑
 くり上がった1を
 たすと10になり
 1がくり上がる

えんぴつの数は108本ともとめることができるよ。

「2けた×1けたのかけ算の筆算」まとめ

- ・ 2けた×1けたのかけ算の筆算は、2けたの数を十の位と一の位にわけて、それぞれにかける数をかけて計算する。
- ・ 2けた×1けたのかけ算の筆算は、一の位から順番にかけ算をしていく。
- ・ もとめた答えを書く位をまちがえないように気をつける。
- ・ くり上がりがあるときは、たし算の筆算とおなじように、くり上がった位のところに小さく数字を書いておくとよい。

